



水産庁 内田室長

一般社団法人根柢文庫協会の定期総会が開催された。来賓として、内田智水産庁防災課水産部長、祝辞代読（石井聖治農林水産部長の祝辞）、漁協会長等が出席し、それぞれ挨拶を交わした。その後、議事では、7年度の事業実績・収支予算案、会費案の承認等が承認された。

田室長から、次期漁港漁場整備計画に関する検討状況について、定議演が9年度からの計画（5年間）について、現在4つの重点課題の主要な部分について説明があつた。

質疑では、ブル質問があつた。



大分県漁港漁場協会
令和8年度通常総会

JF大分

水産おおいた

2026年
10月

194号

発行元
大分県漁協

<http://www.jf-oita.or.jp/>



漁船無事故「チャレンジ100」
in大分2026 『宣誓式』

9月29日、国東市国見町の国見支店において、漁船無事故「チャレンジ100」in大分2026の宣誓式が行われ、10月1日から100日間の海難事故防止の取組がスタートした。

大分海域では2021～2025年までの5年間で215隻の船舶事故が発生し、うち漁船が44隻で全体の20%を占める。

式では、中根組長が「今年で7年目を迎えるこの取り組みは安全意識を高める大事な機会になっている。漁協としても無事故は大きな願い。この啓発運動を通じ安定して水産物を食卓へ届けたい。保安部、県と連携し安全操業、地産地消につながることを祈念する」と挨拶。

その後、県漁業管理課平川参事が挨拶、結びに近乗美信国見地区漁業運営委員長が「無事故操業に努め、獲った魚を皆さんの食卓に届けたい」と宣誓し閉会した。



漁業ガイダンス 開催
海洋科学高校にて

9月25日、臼杵市の県立海洋科学高校において、漁業ガイダンスが行われた。

これは一般社団法人大日本水産会が主催し、水産業への興味を持ってもらい、将来の就業につなげることを目的に各地で開催されているもの。本県では3年目の開催。

当日は、海洋科の1年生21名が参加し、初めに県漁協総務部の長野部長と松井職員が動画を使って大分県の漁業の概要、加工センターの紹介を行った。

その後、神奈川県在住の漁業株式会社佐藤昌彦専務取締役が遠洋マグロ漁等について説明した。

現時点では半数の生徒が卒業後の進路として漁業に関心を持っていることが報告された。



**大分県漁業関係団体漁政推進本部
自民党に令和9年度の政策・予算を要望**

大分県漁業関係団体漁政推進本部(中根隆文代表)は9月30日、自民党大分県連に対し令和9年度の国・県の政策と予算確保を要望した。内容は以下の15項目

1 漁船漁業の振興

- (1)漁場、新魚種の開発(国政・県政) 継続
(2)資源管理漁業の推進(国政) 継続
(3)栽培漁業の推進(国政・県政) 継続
(4)漁場環境の改善(国政・県政)※一部新規:県において海域ごとに「磯焼け」の原因となる植食性魚類の食害の実態把握や駆除方法等の調査、研究を要望。



2 養殖漁業の振興

- (1)餌飼料高騰対策(国政・県政)※継続であるが、厳しい状況であるため重要事項とした：漁業収入安定対策事業の積立ふらすの標準出荷価格の見直し、セーフティーネット構築事業の漁業者の負担軽減を要望。
- (2)人工種苗及び育種体制の整備(国政・県政)※一部新規：カキ3倍体の安定供給に向けた研究の加速を要望。
- (3)モジャコの安定確保(県政)※新規：鹿児島海域で早めに入漁できるよう行政間の連携を要望。
- (4)環境変化に伴う施設整備、疾病等対策の加速(国政・県政) 継続
- (5)陸上養殖トラフグの共済対象種への追加(国政)
※新規：陸上養殖のトラフグも共済対象種に追加することを要望。
- 

3 水産物価格の向上

- (1)産地加工の推進(県政) 継続
(2)輸出を含む販路開拓(国政・県政) 継続
(3)県産県消の拡大(県政) 継続

4 漁業・漁協経営の再編

- (1)漁協経営基盤の改善(国政・県政)※一部新規:組織運営体制の強化、施設の統廃合、人材確保など公的支援の創設、拡充を要望。

5 その他

- (1)漁港漁場協会の九州地区大会開催に向けた指導等(県政)※新規:R10に大分での開催が予定されている九州大会への
県の指導、協力を要望。



令和8年度「漁業の安全月間」 ～10月は「全国漁船安全操業推進月間」～

漁業関係団体や水産庁等関係行政機関が連携し、毎年10月を「全国漁船安全操業推進月間」として、漁業者の事故防止に関する周知啓発等の取組みを実施している。

今年度も例年通り同取組みを実施することとしており、一般財団法人 中央漁業操業安全協会から以下の取組み強化の依頼があった。

①ライフジャケットの着用

水産庁の調査(但し、公表値は県域全体)によると、ライフジャケットの着用率は同協会関係16都府県域の過半が全国平均(95.4%)に満たない状況。

引き続き、ライフジャケットの着用徹底をお願いします。

②AIS(船舶自動識別装置)の導入

小型漁船へのAISの普及促進やAISの機能を有するスマートフォン向けアプリの活用等をお願いします。

③漁業就業者の健康対策

健康が要因と推察される海中転落や操業中の病死等の死亡事故が救済事業案件において散見される。

近年、減少傾向にあった関係16都府県域の漁業操業中の死亡事故は、昨年度(令和7年度)は8件と増加に転じ、令和8年度も9月末時点ですでに5件発生している。

本年度の死亡事故については、全て「一人親方等(労働者を雇用しない個人経営体)」での漁業操業形態であり、こうした操業形態では事故や異変等の発見・発覚遅延により死亡事故に陥りやすく、更に衝突・転覆等の重大な事故に繋がる可能性がある。

健康対策にご配慮願います。

※右は(一社)大日本水産会による啓発資材(ポスター)

10月は「漁業の安全月間」



写真提供：真鶴町漁協

「事故は突然、そなえは事前。」

安全教育



ベテランも新人も、慣れた作業に油断せず安全教育を徹底しましょう。
まずは、**動画視聴**から



仕事中のケガ等への

補償の備え



雇用主は**労災保険**などへ加入し経営を守るともに安心して働ける環境を作りましょう。



健康対策



従業員の健康対策を推進しましょう。
まずは、**健康づくり宣言**から

第3回定例会が開会

9月3日に大分県議会の第3回定例会が開会した。水産関係の質問は左記のとおり。

【一般質問】自民党 三浦正臣議員

大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。

【答弁】石井聖治農林水産部長

大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。

【答弁】佐藤知事

大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。

大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。

大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。

大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。

人事異動(10月1日付け)

新	旧	氏名
(蒲江加工センター) 副センター長	(蒲江加工センター) 業務課長	久壽米木啓壽
(本店) 総務部総務課(臨時)		吉富 凜

しん運言りにめ入。たじ晩かそがなあ。夏場は少雨で、気温は高め。10月1日より、蒲江加工センターの業務課長に久壽米木啓壽氏が異動。また、本店の総務部総務課(臨時)に吉富 凜氏が異動。

編集後記

この号は、大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。大分県水産物の消費拡大に力をつける。